

Ube
宇部 I E C A 会報
International Cooperative
Report
Environmental Association
Ube I E C A Report

発行
宇部環境国際
協力協会

No.10

2008.5.



中国威海市研修生李さん、鄧さんが当協会ボランティア宅でホームステイし日本の家庭を体験しました。

協会設立10周年に当たって

本協会は宇部市の「グローバル500賞」の受賞を機に、市の意向を受けて、国際的視野に立ち地球環境の保全活動に貢献していくことを目的として、平成10年8月に設立されました。多くの企業、大学、行政、市民の方々の温かいご理解とご支援をいただき、お陰様で、本年8月には設立10周年を迎えます。

この間、平成10年度にはODAローンセミナー参加者30カ国30名との交流を行い、平成12年2月にはJICA研修「低公害練炭製造技術研修」を開始し、ペルー共和国から平成14年度までの4年間に合計9名の研修生を受け入れました。平成14年度からは同じくJICAの支援を得て、宇部市の友好都市である中国威海市から研修生を受け入れ、「都市環境保全行政コース」を開始し、平成17年度からさらに「環境保全パートナーシップコース」として継続し、昨年度までに合わせて6年間、合計13名の中国威海市研修生を受け入れて参りました。威海市は国家居住環境模範賞を受け、中国国内でも住みよい町として高い評価を受けていますが、帰国した研修生は、環境保全行政にそれぞれ重要な役割を果たされています。昨年には「宇部方式」の移転を具体化するための組織として「威海市環境科学学会」が設立され、活動を開始したとのことであり、今後の成果に期待しております。

また平成17年度には環境保全分野の研修と日本人との交流を行うためJICA青年招へい事業としてフィリピン共和国青年23名を受け入れました。

これまで受入れた研修生は短期研修を含め39ヶ国262名にもなり、「宇部方式」「宇部の環境技術」が世界の環境改善に貢献でき、また国際親善にも役立つことができているものと確信しております。





一方、環境国際セミナー、環境保全技術講座等の開催を通して、市民の地球環境意識の啓発にも努めて参りました。さらに「宇部の環境技術」日本語版、英語版、中国語版、韓国語版を発刊し、宇部市内企業の環境技術を紹介することにより、宇部の環境技術を世界に発信して参りました。







これらの活動は、ひとえに会員の皆様はじめ企業、大学、行政、市民および関係諸機関の方々のご指導、ご協力によってのみ可能となったものと感謝いたしております。

今後も、当初の目的に向かって、ご意見を反映しながら改善を図りつつ、さらに前進を続けていく所存でございます。会員の皆様の一層のご指導ご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成20年5月
理事長 浮田正夫

協会10年の歩み

協会の主な事業	年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・宇部市グローバル500賞受賞 	1997	
<ul style="list-style-type: none"> ・協会設立 ・「環境国際セミナー」開講 	1998	
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「低公害練炭製造技術研修コース」ペルー共和国研修(1名)開始 ・「宇部の環境技術2000」日本語版発刊 	1999	  <p>ペルー共和国研修</p> <p>宇部の環境技術2000</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「低公害練炭製造技術研修コース」ペルー共和国研修(2名) ・帰国研修生との情報交換開始 	2000	
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「低公害練炭製造技術研修コース」ペルー共和国研修(4名) ・「宇部の環境技術2002」英語版発刊 	2001	  <p>ペルー共和国研修</p> <p>宇部の環境技術(英語版)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル500賞受賞5周年記念講演会(宇井純氏) ・JICA「低公害練炭製造技術研修コース」ペルー共和国研修(2名) ・JICA「都市環境保全行政コース」中国威海市研修(1名) 	2002	   <p>記念講演会</p> <p>ペルー共和国研修</p> <p>中国威海市研修</p>

協会の主な事業	年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・協会設立5周年記念講演会(松下和夫氏) ・協会設立5周年記念「ペルー共和国訪問ツアー」 ・JICA「都市環境保全行政コース」中国威海市研修(2名) ・「宇部の環境技術2004」中国語版発刊 ・関連団体との連携 	2003	 <p>記念講演会</p>  <p>ペルー共和国訪問</p>  <p>宇部の環境技術(中国語版)</p>  <p>中国威海市研修</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「都市環境保全行政コース」中国威海市研修(2名) ・アジア途上国の環境国際協力要望調査 ・国際協力団体との連携 	2004	 <p>中国威海市研修</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「環境保全パートナーシップコース」中国威海市研修(4名) ・JICA青年招へい事業フィリピン研修(23名) ・留学生対象企業の環境対策設備見学会開始 ・学生対象企業の環境対策設備見学会開始 	2005	 <p>中国威海市研修</p>  <p>フィリピン研修</p>  <p>留学生対象見学会</p>  <p>学生対象見学会</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「環境保全パートナーシップコース」中国威海市研修(2名) ・環境保全技術講座開講 ・「宇部の環境技術2007」韓国語版発刊 	2006	 <p>中国威海市研修</p>  <p>宇部の環境技術(韓国語版)</p>  <p>環境保全技術講座</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・JICA「環境保全パートナーシップコース」中国威海市研修(2名) 	2007	 <p>中国威海市研修</p>

研修生国別受入れ人数

平成20年4月1日現在) 39カ国 262人

国名	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	合計
アルゼンティン				1	1						2
アルバニア	1										1
アルメニア	1										1
インド	1		1	1			1				4
インドネシア	1		1		2	2	1	2	6	8	23
イラン						1					1
エジプト			1	2	1	1	1				6
エルサルバドル	2										2
韓国		10	8	5	5	5		3		9	45
グアテマラ	1										1
グルジア	1										1
コロンビア	1					1	1				3
サウジアラビア			1	1							2
ジョルダン	2										2
スリランカ	2										2
タイ	3		1	2				2		2	10
中国	11	1	5	2	3	5	5	21	14	10	77
チュニジア	1										1
トルコ	1		1								2
ネパール	1				1	1					3
パキスタン	2						1				3
パプアニューギニア	1										1
パラグアイ	1										1
バングラディッシュ	2					1	1	1			5
フィジー	1										1
フィリピン			1	1	2			25	1	1	31
ブラジル	2										2
ベトナム	1										1
ベナン	1										1
ベネズエラ	1										1
ペルー	2	1	3	4	2						12
マリ	1										1
マレーシア	2			1				1	1		5
ミャンマー	1										1
メキシコ	1										1
モーリシャス	1		1								2
モロッコ	1										1
モンゴル	1				1						2
ラオス	1										1
合計	53	12	24	20	18	17	11	55	22	30	262

中国威海市に「環境科学学会」設立

「宇部方式」の移転拠点—威海市個別研修6年間の成果—

●JICA草の根技術協力事業威海市個別研修「環境保全パートナーシップコース」●

宇部市の友好都市である中国威海市から、昨年に引続きJICA研修生2名が平成20年1月14日から2月5日まで宇部市を中心に行政、企業、大学において、「環境保全パートナーシップコース」について研修を受けました。この度の研修は、「宇部方式」を威海市の環境行政官、企業の代表者、学識者に伝え、同市の環境問題の解決や、「宇部方式」による環境改善システムの定着を図ることを目的とした、3ヶ年計画の最終年度研修です。研修生によると研修6年間の成果として、「宇部方式」の威海市における移転拠点である「環境科学学会」が既に設立され、活動を開始したとのこと。 「環境科学学会」は今後、環境保護学術交流、経済社会発展、環境管理戦略及び環境管理、環境保護科学技術者にサービスを提供するような活動を通じ、「宇部方式」による環境改善システムとして威海市のみでなく、中国他地域への展開を図ることにより、環境問題の解決に役立つものと期待されております。また研修生は休日を利用してホームステイ、山陽小野田市の竜王山公園オートキャンプ場環境保全設備の見学、山口県内の観光地（秋吉台、秋芳洞、萩、山口瑠璃光寺、岩国錦帯橋、岩国城）の見学、フィッカル阿知須での餃子会等での日本文化・歴史体験を通じ、交流ボランティアをはじめ市民との交流も活発に行われました。

威海市から受入れた研修生は6年間で、合計13名となりました。

《環境保全パートナーシップコース》

研修実施主体	宇部市、宇部環境国際協力協会
期 間	平成20年1月14日～2月5日 23日間
研 修 生	李煥奎（威海市環境監察支隊 副支隊長） 鄧少波（威海市対外科学技術交流センター 副部長）
研 修 先	セントラル硝子（株）、宇部興産（株）、（株）イーユーピー、 （株）パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス、山口大学工学部、 （株）リーテム、東京都水道局、宇部地区環境保全協議会、山口県、宇部市

開講式



開講式



副市長表敬訪問



常盤公園ではペリカンがお出迎え

研修風景



(株)PETで火力発電所の環境対策を習得



中国電力(株)新小野田火力発電所でタービン発電機、廃水処理設備、脱硝、コットレル等の排ガス処理設備を見学



宇部興産(株)宇部セメント工場でセントキルンによる資源リサイクル設備を見学



(株)EUPで廃プラスチックの再資源化設備を見学しました



宇部市リサイクルプラザで宇部市の廃棄物・リサイクル対策を習得しました。



日立建設(株)宇部瀝青工場リサイクルセンターを見学しました。



宇部市環境保全センターの容器包装プラスチックごみの処理設備を見学しました。



山口大学で「環境アセスメント・モニタリング」について受講しました。



山口県環境保健センター大蔵庁舎で開催された「水環境フォーラム山口」に参加しました。

交流風景



交流ボランティアと山口市瑠璃光寺を探訪しました。



交流ボランティアと秋芳洞を見学しました。



フィットカル阿知須で餃子会に参加し市民と交流しました。

ホームステイ



ボランティア宅で中国留学生と交流しました。

送別会



李さん鄧さんを囲んで記念撮影しました。

閉講式



約3週間の研修を終え、JICA中国 辻野業務第二チーム長から修了証が授与され、関係者と共に記念撮影



浮田理事長から記念品を贈呈されました。

威海市研修6年間の成果報告として、李さん、鄧さんの「カントリーレポート」から、特に「環境科学学会」創立の部分を抄録し紹介します。

「産・官・学・民」のきずな——「環境科学学会」の創立

李煥奎、鄧少波

2003年に研修が始まって以来、研修員たちが一番印象深かったのは、宇部市の環境保護における「産・官・学・民」の連携ということである。したがって、我々も宇部市環境審議会のような環境保全のためシステム・組織の構築を探ってきた。その結果、我々は環境科学学会という組織を立ち上げることを決定した。

まず、環境科学学会の位置付けを紹介する。威海市環境科学学会は全市環境科学技術者、環境工程技術者、環境教育者と環境管理者などが自ら志願して参画し、政府に登録した、非営利の環境科学技術社会団体であり、環境保護学术交流、経済社会発展、環境管理戦略及び環境管理、環境保護科学技術者にサービスを提供する場である。そして、環境科学学会は威海市政府が広範な環境技術者と科学技術実業者を結びつけるきずなであり、威海市の環境科学技術事業を発展させる重要な社会力であり、全市の環境保護領域の一つの重要な構成部門である。

学会は「経済建設は必ず科学技術に頼り、科学は必ず経済建設に向かう」と「百花斉放・百家争鳴」という方針を堅持し、「人を本にし、科学発展観、調和の取れている社会、節約型社会と環境友好型社会」などの新たな思想と理念を堅持し、献身、現実主義、新しいものの創造、協力の精神を提唱する。そして、広く環境科学技術者、環境管理者及び環境保護技術実業者が連携し、威海市の環境科学技術の発展、普及、広がり及び環境技術人材の育成を促進する。

次に、環境科学学会の主な業務内容を紹介する。

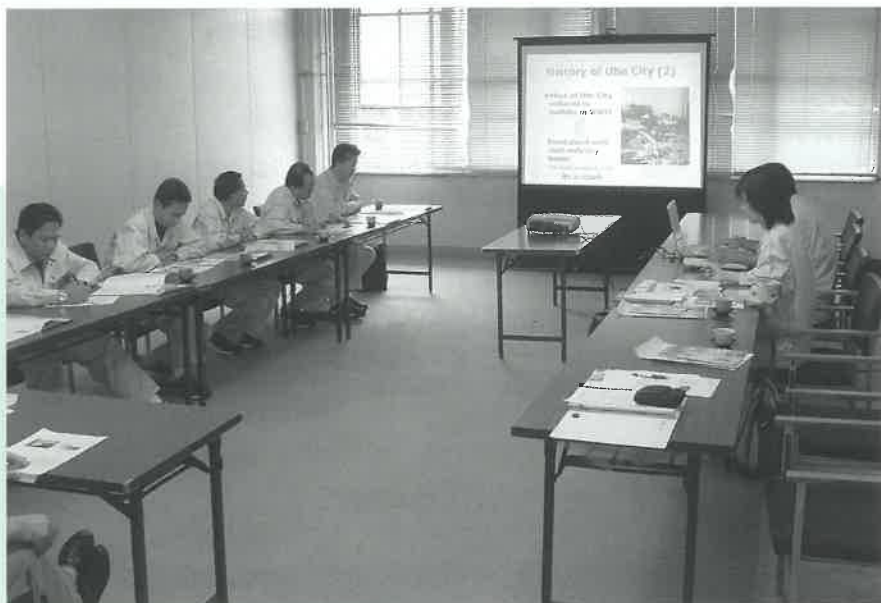
- 1、学术交流、検討、見学、考察などを手配し、国内外の他の組織との交流と協力を強化する。
- 2、重点課題研究と重大プロジェクトの調査研究を行って、政府の戦略に参画する。
- 3、内部出版物と定期刊行物を編集、発行し、環境科学知識を宣伝、普及する。また、環境保護技術者と管理者に教育する。
- 4、先進的な環境科学技術、生産プロセス及び製品を宣伝し、広げる。企業に汚染管理技術を提供し、全市の環境保護産業の健全な発展を促進する。
- 5、市内の環境保護領域の優れた成果を選出し、模範的な人を表彰する。
- 6、威海市政府、威海市環境保護局に依頼された他の仕事をする。

学会の業務は環境管理、環境科学研究、環境宣伝と環境産業などの領域に関係し、活動範囲は広く(全市と市外)、活動方式は「民主、協力、団結、共栄」の原則を堅持して、学会発足時の2006年の初旬、威海市環境科学学会の準備委員会が設立され、仕事を始めて、職責、規約と機構などを制定した。威海市環境科学学会は2007年10月に正式に成立し、威海市副市長劉茂徳が名誉理事長、威海市元環境保護局局長閻吉茂が理事長に就任した。副理事長とメンバーはそれぞれ政府、企業と大学から集められ、「産・官・学・民」の四つの構成部分は有機的に結び付けられた。

現在、学会の仕事はすでに始まっており、66社の会社が学会に参加している。学会の成立は必ず「宇部方式」をうまく威海市での実践に移し、威海市の環境保護に重要な役割を果たすものとする。

本レポートの全文が必要な方は事務局にご請求下さい。

研修生の受け入れ



国際集団研修

第3回「大気汚染源モニタリング管理」コース

研修主体 ● KITA((財)北九州国際技術協力協会)

期 間 ● 平成19年10月2日(1日間)

研 修 生 ● インドネシア、フィリピン政府環境
管理者6名

研修視察先 ● 宇部興産(株)、宇部市

市内企業の環境対策設備見学会(留学生対象)

山口大学、宇部フロンティア大学在籍の留学生12名が宇部興産(株)IPP木屑
燃焼設備及び伊佐セメント工場自家用発電設備を見学し木質バイオマス
発電について学びました。



企業の環境対策設備見学会(学生及び会員対象)

山口大学、宇部フロンティア大学、山口東京理科大学の学生18名と会員16名
が(株)岩国ウッドパワーのバイオマス発電所と環境影響評価(アセスメント)、
環境監視(モニタリング)の貴重な現場である、岩国市愛宕山地域開発事業
現場を見学しました。



環境国際セミナーの開催

第1回

◇平成19年6月22日(金)平成19年度総会后
 ◇宇部市文化会館
 共催：宇部市
 演題：「宇部国際環境協力協会10年の歩みと今後の課題について」
 講師：宇部国際環境協力協会 理事長 中西 弘氏



第2回

◇平成20年3月7日(金)
 ◇宇部市文化会館
 共催：宇部市、JICA中国
 演題1：「青年海外協力隊活動から見たインドネシアの環境」
 講師：JICA国際協力推進員 水野 雅子氏
 演題2：「アルゼンチン共和国の環境問題の現状と課題
 ---アルゼンチン・ラプラタの自然環境---」
 講師：元JICAシニアボランティア 専門家
 川口 博行氏



環境技術構座

第1回

◇平成19年10月2日(火) ◇(株)岩国ウッドパワー
 共催：宇部市
 演題：「バイオマス発電の現状と課題について」
 講師：発電所長 山本俊弐 氏／顧問 五十嵐章彦氏



講演後中央制御室、燃料受入れ貯蔵設備、ボイラー、排ガス処理設備、タービン発電機、水処理設備を見学した。

第2回

◇平成19年11月15日(木) ◇山口大学工学部C11教室
 共催：宇部市
 演題：「環境衛生工学の課題
 ~し尿の処理から微量化学物質汚染まで~」
 講師：京都大学 名誉教授 松井 三郎 氏



共催事業



やまぐち環境ネットワーク主催 第3回シンポジウム「地域・人・自然の共生を探る」で浮田理事長が「威海市研修の経緯」について発表しました。



宇部市他主催
「環境首都をめざす自治体 全国フォーラムin宇部」

ネットワーク・広報活動



①(財)山口県国際交流協会主催「ボランティアフェスティバル」(2007年11月11日)においてパネル展示をし、参加者に当協会の活動を紹介しました。



②宇部市主催「環境首都をめざす自治体全国フォーラムin宇部」(2007年11月12、13日)においてパネル展示をし、参加者に当協会の環境国際協力活動をアピールしました。



③宇部市主催「環境ビジネス交流会」(2007年11月28日)においてパネル展示をし、参加者に当協会の活動を紹介しました。

平成19年度総会



6月22日(金)に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画が審議、承認されました。

国際交流ボランティアの活動



威海市研修では休日に研修生と当協会交流ボランティアとが山口県内各所を探訪し、日本文化、歴史を理解するとともに交流しました。送別会ではこれら交流ボランティア12名が出席し、別れを惜しまました。ボランティアミーティングで研修生を交えて休日スケジュールを相談中です。

ボランティアのお願い



国際交流および技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の事情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

〈国際交流ボランティア〉

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると思われます。外国語(英語、スペイン語、中国語等)の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

〈技術支援ボランティア〉

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受け入れのための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

★お申込みは宇部IECA事務所までご連絡下さい★

会員募集

現在の会員数

- 個人 350人
- 法人団体 80団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1口 1,000円(年額)
- ★法人団体 1口 10,000円(年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘いをお願いします。

発行 事務所 **宇部IECA**

宇部環境国際協力協会

〒755-0045
山口県宇部市中央町1丁目10番32号
エビスビル3階

TEL・FAX (0836) 36-3199
Eメール info@ieca.biz
URL http://www.ieca.biz